

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 CL千賀 SL仲島 SL西 義間 松井 池田
受講生 川手 松本昌 上戸 水嶋

2. 山城／ルート 冬山教室 実技講習⑤ 兵庫県 氷ノ山（標高 1509m）

3. 交通手段 自家用車

4. 行動記録

<入山日 2017年 1月 21日 下山日 2017年 1月 22日>

1/21 神戸各地出発 6:00⇒9:00 福定駐車場 10:10⇒（スキー場リフト利用）(769m)出発 11:00→
(900m)12:50→13:45 東尾根非難小屋(1006m)→ (1100m)14:50 → (1200m)15:40
→ (1260m)16:00 テント泊

1/22 4:00 起床= 出発 6:00 →(1394m) 6:40 →7:25 氷ノ山頂上 7:40 →8:20 テント撤収
9:10→10:40 東尾根非難小屋 11:10→11:20(950m)弱層テスト実施 11:50 →
12:00(870m)ビコン搜索トレ実施 13:10 → 氷ノ山国際スキー場 13:30 ⇒
入浴（天女の湯）山行後ミーティング実施 →帰神

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

1/21 行動修了を 15:30 と設定した。班行動によって 30 分の差異が生じ、最終班は 16:00 行動修了となった。（互いに状況は随時把握しており問題はない。）

1/22 10 時頃からの寒冷前線通過による風雪が予想されたため、行動開始時刻を 1 時間早め頂上折り返し時刻を 7:30 と決定した。 またトレーニング場所を当初予定した 1350m 付近から変更した。

【計画】

1/21 6:00 頃出発→福定駐車場 9 時集合、10:00 出発→(スキー場リフト利用)→東尾根登山口
11:30→東尾根避難小屋 12:30→テント適地 1270m 付近 : 15:30

1/22 7:00→8:00 山頂 8:30→9:00 1350M 訓練開始 11:30 → 12:00 テント撤収
13:00→15:00 駐車場→温泉→神戸 20:00

b) 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか？

特になし

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

同時期の天候事例とそれに伴う遭難事例について関係者と情報共有を行った。

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

両日とも風・降雪ともに比較的穏やか。

1/21 は急傾斜での深雪ワカン登高を経験。 1030m 付近の急傾斜でプルジック登高を行い、

危険個所では安全に配慮するとともにより実践的なトレーニングを実施した。(1/22 の下りでも実施。)

1/22 は日の出前から行動を開始し、ヘッドランプをつけて行動することを経験。日が昇っても霧に包まれていたので、尾根が明瞭でないトレースがない斜面を地形図とコンパスを頼りに行動することを経験してもらうことができた。(各班それぞれトレースを共有せず、リーダーが先行しないようにし受講生が考えられる状況を作り、班単位で信じるルートで進んでもらった。)

登りのすべてと下りのテント場までストック・ワカン・スノーシュー。テント場からの下山はアイゼンとピッケルとした。

弱層テストはシャベルコンプレッションテストを実施。ビーコン検索では西リーダーが気合のこもった深部までビーコンを埋めて、信号の見え方と検索方法の基本操作を経験してもらった。

全体のルート決定と行動時間の配分・リミットと装具の選択を CL が実施。実際の行動・トレは班単位で実施し、無線により互いを把握しながら情報共有を行った。

各班リーダーによって自身の班で行動できる能力が持てている状況・無線の混信による周波数変更にもしっかり対応できるスタッフに感心！とても頼もしく思えた。今後が楽しみ。

耐風姿勢と支点づくりは実施せず。

ワカンを装着しているメンバーには、体力的に少しつらい行動となったように感じた。同ルートにおいてはスノーシューが快適。

報告者氏名 千賀義一 2017 年 1 月 22 日



写真1 氷ノ山頂上到着！



写真2 思い思いに班行動
さて進むべくはどっちかな？